

2022年4月～2023年3月



目次

1. 事業概要
2. 企業理念
3. 環境方針
4. 環境管理実施体制
- 5-1. 中期環境目標一覧表
- 5-2. 中期環境活動目標
- 5-3. 環境活動計画
- 5-4. 取組結果と評価
- 5-5. 次年度の取組内容
- 5-6. 活動紹介
6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無
7. 代表者による見直し結果報告書
8. 問い合わせ・連絡先

1. 事業概要

商号 株式会社 三ッ素商会

所在地 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-15-12 共立新横浜ビル
電話 045-470-0211 FAX 045-477-3310

役員 代表取締役 川瀬 晋吾 取締役 川瀬 浩 取締役 松原 冴子

設立 昭和 60 年(1985 年)4 月 22 日

事業内容 各種防錆剤の輸入販売、石油・プラスチック添加剤、一般工業薬品の国内販売及び輸出入、各種化学試験機等の販売。

沿革

1985 年 4 月 株式会社小桜インターナショナルとして設立 2010 年 8 月 エコアクション 21 の認証・登録(0005471)
1991 年 3 月 商号を現在の株式会社三ッ素商会に改める

事業の規模

活動規模	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
製品販売量	t	1092	1069	1005	1108	1167	1125	1120	1001	963	1172	1300
従業員	人	7	7	7	7	5	5	6	6	7	7	7
床面積	m ²	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184

URL <http://www.mitsumoto-s.co.jp/>

2. 企業理念

1985年創業以来、私たち株式会社三ッ素商会は、防錆添加剤を中心に扱う商社として、アジアやアメリカ・欧州など諸外国より輸入・販売を行って参りました。近年では、お客様のニーズを満たすよう酸化防止剤や摩擦低減剤などもラインナップに加え、幅広い用途に対応できる製品もご提供しております。

皆さまご承知のとおり、世界の経済環境は大きく変化し、お客様のご要望もますます高度化・多様化すると共に変化のスピードは速くなるばかりです。そのような時代に私たちは適切に対応できるよう常に心掛け躍動しています。

昨今では世界情勢により化学品の供給がグローバルレベルで阻害される事象が多発しています。そこで、私たちは、特に既存の添加剤に対する「セカンドソース」を提供することに注力し、お客様の選択肢を増やすことで安定的な原料調達に寄与していると自負しております。

これからも、私たちならではの豊富な知識とノウハウ、経験により培った独自のグローバルネットワークを駆使し、お客様に価格競争力のある製品・付加価値のある製品を安定的に供給できる体制を整えて参ります。

皆さまの益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、今後とも弊社へのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 川瀬 晋吾

3. 環境経営方針



環境経営方針

環境理念

私たちは化学品を扱う専門商社として、環境問題を常に念頭に置きながら、企業活動を通して地球環境に貢献することを目指します。

行動指針

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、定期的な見直しを行うとともに、継続的な改善活動を行います。
 - a) 電力の適正使用に努め、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - b) 企業活動で使用・発生する資源の3R(Reduce, Reuse, Recycle)に努めます。
2. 適用される環境関連法規等を遵守します。
3. 環境経営方針、環境経営レポートを社内に周知するとともに、社外にも公開します。

制定日：2009年11月10日

改定日：2022年8月22日

代表取締役 川瀬晋吾
株式会社 三ッ素商会

川瀬晋吾



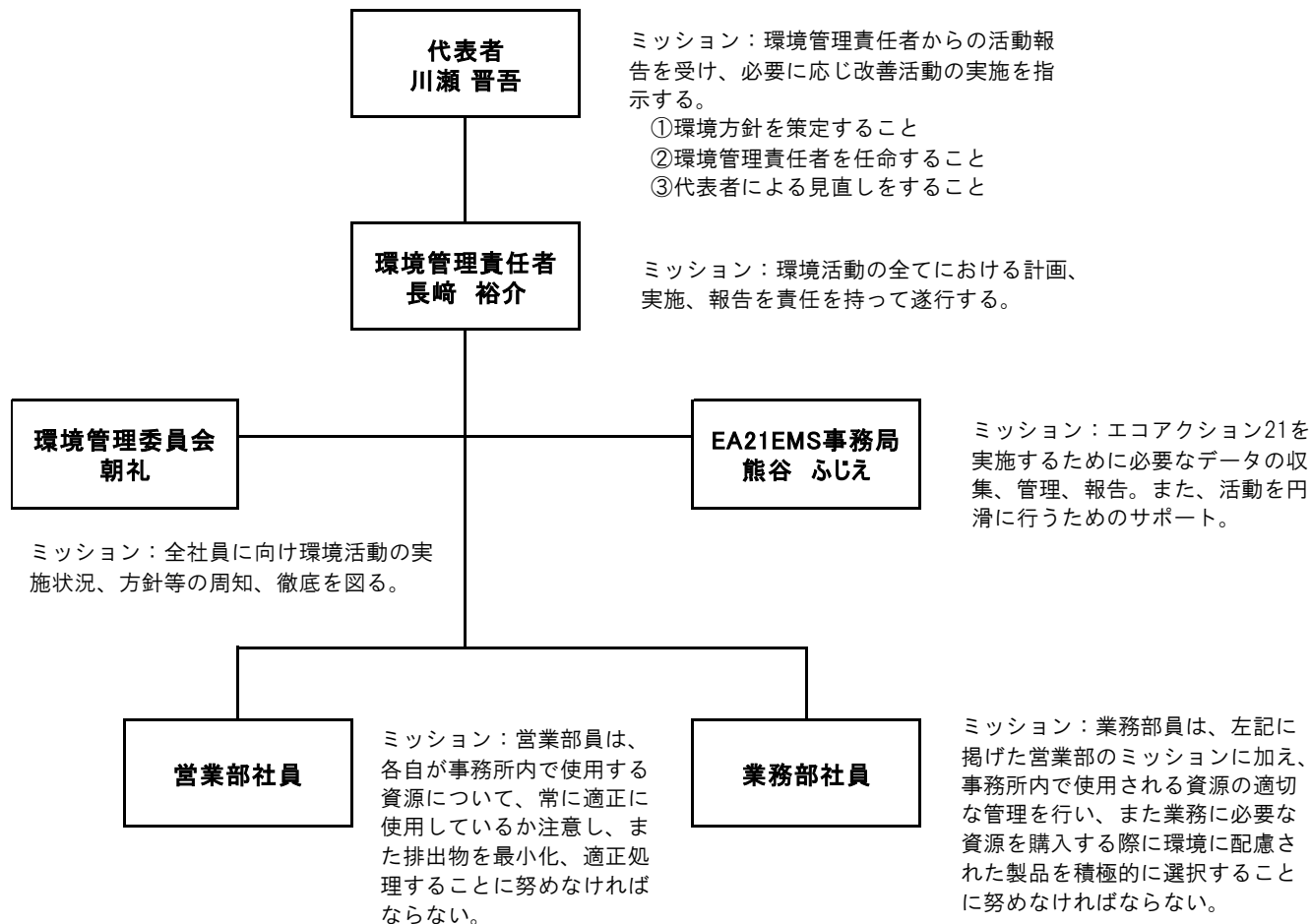
4. 環境管理実施体制

環境管理実施体制

作成日 2023年7月10日

作成者 長崎 裕介

承認者 川瀬 晋吾



※毎月、朝礼にて、環境管理委員会を開催。前月の環境活動の報告、各役割の確認、担当からの報告またエコアクションセミナーなどの情報を全社員で共有する。外部の環境関連のセミナーなどに参加するよう促し、更なるecoについて教育および啓蒙を図る。

5-1. 中期環境目標一覧表

作成日 2023年7月10日

中期環境経営目標 一覧表(2019年度～2023年度)

承認	作成
川瀬晋吾	長崎裕介

環境目標項目	実施項目		2018年度 (基準年)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (中期目標 最終年)
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減 (kWh)	目標 kWh	20647 (実績値)	20441 (基準比99%)	20234 (基準比98%)	20028 (基準比97%)	19821 (基準比96%)	19615 (基準比95%)
	二酸化炭素 総排出量	CO2換算 kg	9394 (実績値)	9300 (基準比99%)	9206 (基準比98%)	9112 (基準比97%)	9018 (基準比96%)	8924 (基準比95%)
廃棄物の削減	可燃ごみの削減 (kg)	目標	17.2 (実績値)	16.9 (基準比98%)	16.5 (基準比96%)	16.2 (基準比94%)	15.8 (基準比92%)	15.5 (基準比90%)
	プラスチックごみ の削減 (kg)	目標	11.4 (実績値)	11.2 (基準比98%)	10.9 (基準比96%)	10.7 (基準比94%)	10.5 (基準比92%)	10.3 (基準比90%)
コピー用紙使用量の削減	コピー用紙使用 量の削減(束)	目標	26 (実績値)	25.5 (基準比98%)	25.0 (基準比96%)	24.4 (基準比94%)	23.9 (基準比92%)	23.4 (基準比90%)
グリーン調達	購入品数割合 (%)	目標	26.3 (実績値)	28	30	32	34	36
配送の効率化	配送効率化依頼 件数	目標	31 (実績値)	33	35	37	39	41

二酸化炭素排出係数:東京電力エナジーパートナー 0.486kg-CO2/kWh

※エコアクション 21 で望まれている水使用量については、弊社事業所が賃貸ビル内にあり、水道設備については共用となっているため使用量を正確に計測することができない。弊社事業は事業所内での事務作業がほぼすべてであるため、水使用は生活用途のみに限られるため対象からは除外する。但し、手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を履行するよう努力義務は負うものとする。

※化学物質の使用は、自社として化学品を商材として扱っているが、その管理については、全て外部委託しているためエコアクション21の対象外とする。

5-2. 中期環境活動目標(2019~2023年)

業態は商社であるため生産設備等は所有しておらず、また製品の管理は外注している。よって環境負荷の削減を行えるのは、事務所での活動に限られる。それ以外では製品の配送を効率化することで環境負荷を低減。また、具体的な環境活動としては以下のものを行うこととする。

新たな基準値の設定について、2017、2018年度の実績値が目標に対し、ほぼ達成できていない。理由として考えられるのは、上記の説明にあったように削減できる対象が少なく、全社員が目標を達成できないと感じてきている。よって、現実的な数字を踏まえ、2018年の実績値を基準年とし新たな環境目標(2023年)を再設定した。

1. 二酸化炭素の削減(電力の削減)
[目標] 2023年に消費量を2018年(基準年)から5%削減
[施策] エアコン・照明の適正使用、省電力機器の使用推進
2. 廃棄物の削減(可燃ごみの削減)
[目標] 2023年に消費量を2018年(基準年)から10%削減
[施策] 分別の徹底、3Rを意識した物品調達
3. 廃棄物の削減(プラスチックごみの削減)
[目標] 2023年に消費量を2018年(基準年)から10%削減
[施策] 分別の徹底、3Rを意識した物品調達
4. コピー用紙使用量の削減
[目標] 2023年に消費量を2018年(基準年)から10%削減
[施策] 社内保存・使用文書の見直し、裏紙の利用
5. グリーン調達
[目標] 2023年に購入数の比率を36%にする。
現在グリーン調達になっているものは継続、新規購入品も積極的に該当品を採用
[施策] 発注担当者への教育、情報収集
6. 効率的な製品配送
[目標] 2023年までに年間41件。
可能なものをまとめて配送するように顧客に依頼する。
[施策] 受注時に顧客に依頼する
※配送の効率化がお客様にかなり浸透してきたため、依頼する前にまとめて注文が受けることが多くなった。よって、この取り組みが知られていないお客様へアプローチを続ける。
※商品の受け入れ、保管、出荷、輸送については外部企業に委託しているため、当計画の対象からは外すこととする。

5-3. 環境活動計画

NO	中期目標	年度目標	施策
1	二酸化炭素削減 (電力の削減) 2023年に消費量を2018年(基準年)から5%削減	2022年に消費量を2018年(基準年)から4%削減	・冷暖房温度の適正設定((夏26～28℃、冬18～22℃)) ・機器等の適正使用(未使用部屋の照明消灯、エアコンを消す) 計画電力量(kW) 同業計(kW) 実績電力量(kW) 同業計(kW) ※電力の計測は前月21日～当月20日を一月とする
2	廃棄物の削減(可燃ごみの削減) 2023年に消費量を2018年(基準年)から10%削減	2022年に消費量を2018年(基準年)から8%削減	・紙ごみを分別しリサイクルすることにより可燃ごみの量を削減する 可燃ごみ計画排出量(kg) 可燃ごみ実績排出量(kg)
3	廃棄物の削減(プラスチックごみの削減) 2023年に消費量を2018年(基準年)から10%削減	2022年に消費量を2018年(基準年)から8%削減	・資源を適正利用することによりプラスチックごみの量を削減する。 主に送られてきた発泡スチロールや包装材を自社から送るサンプル等の緩衝材として再利用する プラスチックごみ計画排出量(kg) プラスチックごみ実績排出量(kg)
4	コピー用紙使用量の削減 2023年に消費量を2018年(基準年)から10%削減	2022年に消費量を2018年(基準年)から8%削減	・適正使用の呼び掛け ・裏紙、両面使用の推進 ・コピー要否の判断を行う 新しい紙の計画使用量(束) 新しい紙の実績使用量(束) ※1束はA4紙500枚
5	グリーン調達 2023年に購入数比率を2018年(基準年)から36%に。 現在グリーン調達になっているものは継続、新規購入品も積極的に該当品を採用	2022年に購入数比率を2018年(基準年)から34%。	調達品(事務用品、コピー紙等)のグリーン調達率を向上させる
6	配送の効率化 2023年までに年間41件。	年39回実施	複数回の配達をまとめて実施することを顧客に 依頼し、環境負荷を低減させる 実施回数
7	教育・訓練	更なるEA21の啓蒙および環境活動の報告。	毎月、朝礼にて環境管理委員会を開催。

5-4.取組結果と評価

		2022年 4～6月	2022年 7～9月	2022年 10～12月	2023年 1～3月	2022年度 合計	評価	未達成原因
								/達成理由
								/是正処置
1.二酸化炭素の排出量の削減 (単位: kgCO ₂)	基準年(2018年)期間値	1822	2428	2042	3743	10035	×	次項①
	目標値(基準年比97%)	1749	2331	1960	3593	9634		
	実績値	1892	2464	2437	4781	11574		
	基準年(2018年)同期間比	104%	101%	119%	128%	115%		
2.電力の削減 (単位: kwh)	基準年(2018年)期間値	3748	4995	4201	7703	20647	×	次項②
	目標値(基準年比97%)	3598	4795	4033	7395	19821		
	実績値	3892	5070	5014	7219	21195		
	基準年(2018年)同期間比	104%	102%	119%	94%	103%		
3.廃棄物の削減(可燃ごみ) (単位: kg)	基準年(2018年)期間値	4.65	4.15	3.9	4.5	17.2	○	次項③
	目標値(基準年比94%)	4.28	3.82	3.59	4.14	15.82		
	実績値	3.15	3.8	4.05	3.4	14.4		
	基準年(2018年)同期間比	68%	92%	104%	76%	84%		
4.廃棄物の削減(プラスチックごみ) (単位: kg)	基準年(2018年)期間値	4.3	2.65	2.05	2.35	11.35	○	次頁④
	目標値(基準年比94%)	3.96	2.44	1.89	2.16	10.44		
	実績値	1.4	1.15	2.05	3	7.6		
	基準年(2018年)同期間比	33%	43%	100%	128%	67%		
5.コピー用紙使用量の削減 (単位: 束)	基準年(2018年)期間値	8	7	7	4	26	×	次頁⑤
	目標値(基準年比94%)	7.36	6.44	6.44	3.68	23.92		
	実績値	7	6	7	9	29		
	基準年(2018年)同期間比	88%	86%	100%	225%	112%		

		2022年	2022年	2022年	2023年	2022年度 合計	評価	未達成原因
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			/達成理由
6.グリーン 調達(単位: %) ※	目標値					34%	×	次頁⑥
	実績値	23%	50%	22%	29%	29%		
7.配送の効 率化 (単位: 回)	目標値(年間における回数)					39	×	次頁⑦
	実績値	12	9	10	7	38		
8. 教育・訓 練		全社員教育訓練、実施継続中。					○	次頁⑧

2022 年度環境経営目標及び環境経営計画の進捗評価

2022年度環境経営目標	環境経営目標	目標値	実施項目	責任者	実施計画												進捗評価			
					2022/04	5	6	7	8	9	10	11	12	2023/01	2	3	2022年4~5月	2022年6~8月	2022年9~11月	2023年1~3月
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減 (Co2-kg)	9018(2018年度実績の4%削減)	エアコンの設定温度の徹底	長崎	呼びかけ・指導	社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			デスク用扇風機の使用(夏)			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			ポロシャツ等薄着の着用(夏)			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	事務所内でのサンダル仕様(夏)	社内呼びかけ・指導	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	電力の削減 (kWh)	19821(2018年度実績の4%削減)	個人用温風器の使用(冬)			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			防寒着の着用(冬)			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ひざ掛けの使用(冬)			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
廃棄物排出量の削減	可燃ごみの削減 (kg)	15.8(2018年度実績の8%削減)	窓のブラインド使用	長崎	呼びかけ・指導	社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			マイボトル使用			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			サンプル納入段ボールの再利用			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	プラスチックごみの削減 (kg)	10.5(2018年度実績の8%削減)	事務用品購入時の梱包材をサンプル 送付時に再利用			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			サンプル小分け容器の再利用			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			飲料購入時にラベル無しの物を購入			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コピー用紙使用量の削減 (束)	23.9(2018年度実績の8%削減)	販促用資料のペーパーレス化	長崎	呼びかけ・指導	社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		裏面の再利用			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		ボールペン等、替芯を購入し、本体 の新品購入は控える			社内呼びかけ・指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
グリーン調達	購入品数割合 (%)	34	アルコールや洗剤など、新品購入は 控え、替替え用を購入	長崎	物品購入担当者に呼 びかけ	社内呼びかけ・担当者指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
販売・提供する製品のサービ スの改善	配送の効率化 (件)	39	顧客への呼びかけ	長崎	担当者より顧客への 呼びかけ	顧客への呼びかけ・担当者指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

○	実施結果
○	良くできた
○	できた
×	できなかった

- ①二酸化炭素排出量、電力消費量に関しては、2018年度を基準とし、基準値から4%の削減を目標とした。結果は115%と目標を未達成。全ての四半期で目標を達成できなかった。コロナ対策として行っていた勤務時間の短縮やテレワークによる出勤人数を減らす等を緩和し、出勤時間、出勤日が増えたこと、また継続して行っている勤務時間、窓を開け空気の入替えをしていることも電気消費量に大きく影響を及ぼしていると考えられる。現状、可能な対策方法としてはエアコンの適正設定温度、冬は上着を、夏は薄着を可能な限り社員一同実践することぐらいだが、これを改めて徹底したい。
- ②可燃ごみの排出量は目標値の84%と目標を達成。昨年度の重量と比べても0.5kg減となった。出勤日、出勤人数が増えたが日々の呼びかけ、社員一同の意識のおかげで達成となった。今後も継続をしていきたい。
- ③プラスチックごみの削減は、一昨年まで7期連続達成してきたが、昨年度は未達成となっていた。そしてまた今年度は目標値の67%と大幅に削減しての達成。今後も連続達成を目指したい。今年度の大幅な削減の成功は具体的にはないのだが例年通り、サンプルは海外メーカーより送られてきたプラスチック容器のまま顧客に提出というのをより徹底した結果と考える。但し顧客からのサンプル依頼が増えるとその分のプラスチック容器も増えるため今後も増減は予想されるが社員一同改めて認識を促したい。
- ④コピー用紙に関しては目標の5束増と目標未達成。昨年の25束よりも4束増とここ2年毎年の増となっている。これは昨年度も同じ状況となったが顧客との直接面談が増えたことによる販促用資料の増量。また製品値上と製品値下げが重なり顧客への説明資料が大幅に増えたことも理由として考える。改めて顧客との面談では資料を用意する必要があること、そしてその資料を残してもらうためにはデータだけでなくまだまだ紙が必要と感じた。しかしながらその中でもどれだけペーパーレスを実行できるか、紙での販促を減らしWebでの製品紹介、説明資料等、顧客にも協力を仰ぎペーパーレスの意識を高く維持していきたい
- ⑤グリーン調達については目標値である34%に対し29%と目標未達成。毎年購入担当と確認の機会を設け、担当者もグリーン製品を意識して物品の購入を行ってもらってはいるが、購入する製品の全てにグリーン対象の物があるとは限らない。またあった場合でも決まった製品群の中から調達するのは難しい場合があるとのことだった。改めて新年度も可能な限り意識をして欲しいと依頼をした。

⑥配送の効率化 顧客様から注文書 例

⑥配送の効率化とは、同じ顧客様から、異なった日付(右図：A)で複数の商品(B)の注文があった場合同日に複数の商品を配送および納入できるように手配すること(C)。これを実行することにより配送時のトラックによる排気ガス削減や、注文時に使用される紙ベースの注文書による削減が期待できる。配送時のCO2削減の数値は、数値化しにくいので、実行件数で表示。目標値39件に対し38件と目標未達成。この数値に関しては顧客の注文状況、協力にもよるので自社の努力だけでは達成できないため、目標達成までに1件の不足分という結果は個人的には及第点と考える。しかしながら、今までの働き掛けにより顧客にも年々まとめ注文を…ということが浸透してきているので今後も継続と変わらず顧客へのアプローチは行っていく。

⑦朝礼にて現状、社員一同意識してもらい事を働きかけることにより改めて個々での意識向上に繋がっていると感じられた。目標達成、未達成を繰り返し全体的に安定感がないため本年も引き続き毎月教育訓練を実施する。

発 注 書

000863
株式会社三ツ美産業
TEL 045-470-0211
FAX 045-477-3310

品番
発注日 2016-5-31 16:2

〒 [REDACTED]
所在地 (法人様)
TEL [REDACTED] 2110
FAX [REDACTED] 2120

A

B

下記お取寄せのうえ、前項FAXにて、ご返速願います。

品番	品名	単位	数量	納期	発注日	備考
① 6022332	T705E	100K DM	1	6/6	056246	✓
② 6022133	T-705A (NB)	200K DM	4	6/7	056245	✓ 02b2-b100
③				↓		
④				5/6		
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						

C

※ 此程、納期調整項目として、有難うございます。T705E、T-705A 共に 急用納期にて、お取寄せ可。宜しく致します。

2016年5月31日 28.5.31 三ツ美産業

5-5. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2023年度環境経営目標	環境経営目標	目標値	実施項目	責任者	実施計画													進捗評価				
					2023/04	5	6	7	8	9	10	11	12	2023/01	2	3	2023年4~5月	2023年6~8月	2023年9~11月	2024年1~3月		
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減 (Co2-kg)	8924(2018年度実績の5%削減)	エアコンの設定温度の徹底	長崎	呼びかけ・指導	社内呼びかけ・指導													◎			
			デスク用扇風機の使用(夏)			社内呼びかけ・指導													◎			
			ポロシャツ等薄着の着用(夏)			社内呼びかけ・指導													◎			
			事務所内でのサンダル仕様(夏)			社内呼びかけ・指導													◎			
	電力の削減 (kWh)	19615(2018年度実績の5%削減)	個人用温風器の使用(冬)			社内呼びかけ・指導													◎			
			防寒着の着用(冬)			社内呼びかけ・指導													◎			
			ひざ掛けの使用(冬)			社内呼びかけ・指導													◎			
			窓のブラインド使用			社内呼びかけ・指導													◎			
廃棄物排出量の削減	可燃ごみの削減 (kg)	15.5(2018年度実績の10%削減)	マイボトル使用	長崎	呼びかけ・指導	社内呼びかけ・指導													◎			
			サンプル納入段ボールの再利用			社内呼びかけ・指導													◎			
			事務用品購入時の梱包材をサンプル送付時に再利用			社内呼びかけ・指導													◎			
	プラスチックごみの削減 (kg)	10.3(2018年度実績の8%削減)	サンプル小分け容器の再利用		呼びかけ・指導	社内呼びかけ・指導													○			
			飲料購入時にラベル無しの物を購入			社内呼びかけ・指導													◎			
	コピー用紙使用量の削減 (束)	23.9(2018年度実績の10%削減)	販促用資料のペーパーレス化		呼びかけ・指導	社内呼びかけ・指導													○			
裏面の再利用	社内呼びかけ・指導													◎								
グリーン調達	購入品数割合 (%)	36	ボールペン等、替芯を購入し、本体の新品購入は控える	長崎	物品購入担当者に呼びかけ	社内呼びかけ・指導													◎			
			アルコールや洗剤など、新品購入は控え、詰替え用を購入			社内呼びかけ・担当者指導													◎			
販売・提供する製品のサービスの改善	配送の効率化 (件)	41	顧客への呼びかけの継続継続実施	長崎	担当者より顧客への呼びかけ	顧客への呼びかけ・担当者指導													◎			

	実施結果
◎	良くてきた
○	できた
×	できなかった

5-6. 活動紹介

弊社で行っている活動の一部を紹介します。



ごみ箱も分別できるように分けて設置



裏紙も積極的に活用



廃棄物はすべて計量

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

No.	業務名	法的要求事項等の名称	監視・測定項目 (適用施設・業務等)	法的要求事項の内容及び基準	監視・測定プロセス、使用機器等	順守状況
1	EA21 事務局	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物	分別して処理業者に引き渡す	廃棄時の適切な処理	○
2	EA21 事務局	家電リサイクル法	エアコン、テレビ、 冷蔵庫、洗濯機、電 気冷凍庫	特定家庭用機器の長時間使用と適切な廃棄	廃棄時の適切な処理	○
3	EA21 事務局	小型家電リサイクル法	デジタルカメラ	特定家庭用機器の長時間使用と適切な廃棄	廃棄時の適切な処理	○
4	EA21 事務局	資源有効利用促進法	パソコン	パソコンの適切な廃棄	廃棄時の適切な処理	○

環境関連法規の遵守状況をチェックした結果、関係機関及び近隣からの環境関連の法律違反に関わる指摘、指導などは過去3年間に一切ありません。また、訴訟等も同様ありません

7. 代表者による見直し結果報告書

配布先	代表者による見直し 結果報告書	2022年 7月 13日
		代表者 川瀬 晋吾
見直し対象期間	2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日	
見直し実施月日	2022年 7月 13日	(定期)
出席者 提出資料名	環境活動報告書	
	<p>社長からのコメント</p> <p>コロナ禍やワークスタイルの変化等により、以前に設定した目標が達成できないケースが散見される。また長きにわたる活動の結果、マンネリ化してきている感も否めない。改めて活動の意義を見直し、引き続き状況を改善するように努めてもらいたい。</p> <p>弊社はテナントビルに入居しており、緊急事態は基本的には想定されない。消防・防災等の計画はビルにより策定されているものに従うものとする。</p>	

総括的見直し

指摘箇所

環境経営方針 変更なし

環境経営目標 変更なし

環境経営活動
計画 変更あり

実施体制 変更なし

(回覧ルート)

社長→環境管理責任者→関係者招集(改善責任者欄及び期限記入原紙保管、
コピー作成→社長及び関係部門へ配布)

8. 問い合わせ・連絡先

環境管理責任者 長崎 裕介

電話 045-470-0211

メール ynagasaki@mitsumoto-s.co.jp